

## 第4部会(産業労働)第2回部会概要

日 時 : 平成 19 年 3 月 5 日 (月) 18 : 30 ~ 20 : 00

場 所 : 登別市役所 第3委員会室

出席者 : 川田 弘教      川西 悟      河村 信義      工藤 織枝  
         佐々木 幸彦      白田 明義      関根 実      仲嶋 憲一  
         廣瀬 至      三澤 由比子      山田 正幸      山本 芳幸

議 題 : 部会長より、下記3点について提案がありすべて承認された。

### 1. 3つのテーマについて

第1回部会の意見を基に部会長・副部会長が絞り込んだ3つのテーマ、  
働く場・働く人口を増やしたい  
観光の裾野を広げる  
新しい分野への挑戦  
を、今後の検討事項としたい。

### 2. 欠席者のレポート提出による部会への参加

3つのテーマに関する意見・アイディアの聴取方法としては、出席者の部会での発言だけではなく、欠席者からのペーパー・メールなどによるレポート提出も可とし、これを議論に反映して行きたい。

### 3. 市(観光経済部)担当職員の参加について

部会の意見交換に参加してもらいたい。

### 4. 次回の議題についての意見交換

#### (1)働く場・働く人口を増やしたい

- ・新たな産業の創出
- ・企業誘致

温泉観光と結びつく新たな産業創出の可能性の検討。

企業誘致は市にとって望ましいことだが、既存企業にとっては弊害もある。

#### (2)観光の裾野を広げる(観光客が全市的に回遊する仕組みづくり)

- ・観光資源を育てる
- ・郷土愛

何が観光資源と成るのか? 結果的には本物探しをしなければならない。  
防災マップで温泉地区が危険区域になっているが、これは問題ではないのか?

温泉だけを売り物に集客してきたように思えるので、集客方法を再

検討すべきだ。

個々のホテル営業単位で考えるのではなく、温泉地区単位、全市単  
位に波及効果が得られる方法を考えて行かなければならない。

市内は、鷺別・幌別・登別・温泉の4地区に分散されており、市民が  
気持ちの中で一体となれるような意識を高めなければならない。

### (3)新しい分野への挑戦

- ・環境変化に対応できないと魅力を失う

- ・キャッシュレス時代への取組

エディ (Edy) という方法がどのようなモノなのか、どのような方向に  
進むのか、研究して行きたい。

カード等の活用については、利用者側にメリットはあるが、店舗側  
には機器の購入費用・使用料・手数料(売上の5%)の経費がかかる  
など、売上が少なければデメリットとなる面もあるので、研究して  
行きたい。